

IMSジャパンの第三者評価実施における新型コロナウイルス感染予防対策について

－「IMSジャパン第三者評価部門 新型コロナウイルス感染予防対策指針」の要旨－

作成日：2020年7月4日
株式会社IMSジャパン

■用語の定義

- ◇座席の位置への配慮：人と人が対面にならないよう、席を対角に配置したり、横並びにするなど工夫します。横並びにする場合は、隣の人とは可能な限り2m、それが無理な場合は少なくとも1m以上の間隔を空けます
- ◇間隔の(を)確保：隣の人とは可能な限り2m、無理な場合は少なくとも1m以上の間隔を空けます
- ◇部屋の(を)換気：少なくとも休憩時間には窓をあけるなど適宜換気を行います
- ◇除菌：当社から各評価者に配布する消毒液等を手などに直接吹きかけて除菌します

■当社評価者の行動原則

- ①37.5度以上の発熱がある場合は事務局に連絡した上で、無理せず自宅療養します
- ②握手したり名刺交換したりはせず、名札を見せる程度にとどめます
- ③利用者に直接触れたり、握手をしたり、顔を近づけるといった行為はしません
- ④資料チェックの前後には手を除菌します(もしくは手袋を付けます)
- ⑤マスク着用を基本とします

■職員説明

- 事業所と相談し、通常とは異なる下記のような方法も選択できるようにします
- ①説明を受ける職員を新人など限定し出席者数の最小化を図ります(訪問方式)
 - ②リモートアクセスサービスを活用し、生放送(ライブ)で説明します(オンライン方式)
 - ③予め録画した動画を各自都合の良い時に再生視聴して頂きます(ストリーミング方式)

■利用者調査への対応

自記式アンケート方式を基本とし、聞き取り方式を採用する場合は細心の注意を払った上で実施します

(1)自記式アンケート

- ①個別配布・個別回収を基本とします
- ②集合記入方式を取る場合は利用者同士の間隔を確保して対面式にならないようにし、換気に配慮した上で実施します。利用者にもマスクの着用をお願いします

(2)聞き取り方式アンケート

- ①できる限り窓のある部屋で実施をお願いします
- ②利用者にもマスク着用をお願いします
- ③正面には座らず、並列もしくは斜め向かいに座って行います
- ④間隔を確保するよう心掛けます
- ⑤一人聞き取りが終わるたびに換気をします(→窓がある場合は窓を開け外気を入れ、窓が無い場合はドアを開放しておきます)
- ⑥利用者に触ったり握手したりは致しません
- ⑦場合により評価者がフェイスシールドや飛沫防止パーティションを使用します

(3)食事場面の観察

- 短い時間であっても食事場面の見学はさせて頂きたいと考えています。事業者様の状況を勘案し、最も適切な方法を提案させて頂きます。例えば、下記のような方法が考えられます
- ①食事場面は短時間の見学にとどめ、評価者は別な場所を借りて利用者と同じ食事を食べます
 - ②食事場面は短時間の見学にとどめ、評価者は別な場所を借りて持参した弁当を食べます
 - ③食事時間に掛からないようスケジュールを組み、食事時間は短時間のみ見学して終了します

■訪問調査への対応

実際に事業所を訪問して担当者から聞き取る方法を基本としますが、行政もしくは評価推進機構等から事業所訪問禁止の指示が出ている場合は、リモートアクセスサービス等を活用して実施します

(1)事業所を訪問して実施する場合

- ①座席の位置や部屋の換気など感染予防に注意を払った上で実施します
- ②向かい合ってインタビューを行う場合は、人と人の顔の距離ができれば2m、少なくとも1m以上は確保できるようにします
- ③資料を閲覧する際にはその前後に手を除菌します(もしくは手袋を付けます)
- ④場合により評価者がフェイスシールドや飛沫防止パーティションを使用します

(2)リモートアクセス等を活用して実施する場合

- ①質問事項および確認したい資料・データ等を予め事業所側に提示します
- ②実際に資料・データを確認したい場合は、最小限の量とした上で、事務局を通して後日コピー送付等をお願いします
- ③評価者側は、チームメンバーが一カ所に集まる方法と、各自の自宅等からアクセスする方法のいずれかを、状況を勘案した上で適宜選択します
- ④事業所側がリモートアクセスサービスを利用できない状況の場合は、質問事項をメール送信または郵送し、メール等で回答を求めるようにします
- ⑤その場合、追加で確認したい点がある場合は、電話インタビューを行います

■結果報告(フィードバック)

実際に事業所を訪問してフィードバックする方法を基本としますが、行政もしくは評価推進機構等から事業所訪問禁止の指示が出ている場合は、リモートアクセスサービス等を活用して実施します

(1)事業所を訪問して実施する場合

- ①座席の位置や部屋の換気など感染予防に注意を払った上で実施します
- ②事業所職員の座席配置が密集状態にならないよう、適宜提案させて頂きます
- ③広い会場で行う場合、評価者が大声を発しないよう、できる限りマイクのご用意をお願いします

(2)リモートアクセス等を活用して実施する場合

- ①各リモートアクセスサービスの長所・短所、電話を利用した場合の長所・短所を事前に事業所側に提示し、どの手段を選ぶかを事業所側に決めて頂きます
- ②選んで頂いた方法でうまくいくか否か、事前に試行を実施してから行います
- ③評価者側は、チームメンバーが一カ所に集まる方法と、各自の自宅等からアクセスする方法のいずれかを、状況を勘案した上で適宜選択します
- ④電話報告をする場合は、リーダーが代表して行いますが、可能なら他のメンバーもリモートアクセスを使って参加するようにします

※この感染予防対策は、少なくとも新型コロナウイルスへのワクチンが開発され、ワクチン接種が広く行き渡るようになるまでは継続します。